

令和5年6月15日

なでしこ保育園 保護者 様

60周年記念講演会の開催報告について

なでしこ保育園保護者会長 木村友和

日頃より、保護者会の活動について、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、標記の件について、過日（6月3日）に開催いたしました。

つきましては、お忙しい中、本講演会に参加いただいた保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。また、参加いただいた保護者の皆様からいただいたアンケートの回答の一部をご紹介します。

これからも子どもたちの笑顔につながる活動を考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

1. 講演会について

演題「保護者に伝える絵本の魅力」 待ち読み講師 内田 早苗 先生

- ・絵本の読み聞かせについて、親子で関わり合う大切な時間であるという視点からお話をいただきました。いろいろな絵本がある中で、子どもが欲している言葉が詰まっていること、絵本を通して子どもにとっての「望みが叶う」経験をなっていることなど、なぜ絵本の読み聞かせがよいのかを分かりやすく話していただきました。
- ・また、杉山先生の親子による和太鼓の演奏をしていただきました。始めに、杉山先生からリトミックの大切さについてお話をいただいた後に、親子の和太鼓共演を見せていただきました。迫力のある和太鼓演奏と圧倒的な熱量で心に響く感動をいただきました。

2. アンケートについて（一部抜粋）

（講演会の感想）

- ・絵本を読むと、なぜ子供にとって良いのかという理由が腑に落ちました。忙しくても、短い本なら読んであげられるので、望みをかなえてあげられることを、あきらめないで続けたいと思います。
- ・先生の人間性にとっても惹かれました。できないことじゃなくできることを見て、親子で満たされる時間を待ちたいと思います。
- ・絵本がどうして子供にとって良いのかを知ることができ、子供を抱っこして自分の声で読んであげたいと思いました。子供の脳に良い関わりができたらいいです。
- ・子育てや絵本の関わり方について改めて考えるきっかけになりました。子供の想像力や強さを信じて、絵本の力を信じ続けることで、今はわからなくても子供の心に届いて成長の糧になるんだなと思いました。絵本の読み聞かせは親がやるかやらないか。シンプルだけど奥が深い絵本の世界を子供と楽しみたいです。

(次回講演会で取り上げてほしい内容や開催方法について)

- ・食育について
- ・工作や子供との接し方について
- ・てい先生の講演会
- ・最近、幼児期の性教育の大切さをよく耳にするようになりました。防犯的な観点からも、また、自分の命や体、周りの人の命や体を大切に思えるように、子どもたちに伝えたいことがたくさんあると感じています。“プライベートゾーン”などは園生活の中でも子どもたちが意識して生活できたら良いと思うので、講師の方のお話を聞いてみたいです。
- ・杉山先生のお話。できれば和太鼓を子供にも聴かせられるとよかった。

3. 講演後の内田先生との会話から

- ・ある時、内田先生が「子供を可愛いがることができないのでどうすればいいでしょうか」という相談を受けたそうです。内田先生からの回答は、「あなたが周りを見て、“子供を可愛がっている”と思うことを一つでいいからやりなさい」というものでした。例えば、抱っこをすること、手をつなぐこと、膝の上にのせてあげること、一緒においしいものを食べること、そして絵本を読んであげることなど、自分が「あの人は子供を可愛がっているな」と思うことを一つでもしていくことで、段々と子供を可愛いと思えるようになることでした。「親として、がんばらなきゃ」「親とはこういうものだ」と思ってしまうがちですが、できないことをしようとすると息苦しくなってしまいます。まずは、できることから始めればいい、と優しく教えていただきました。そんな内田先生の人柄にも魅せられた良い講演会だったと思います。そして、最後には「だからこそ絵本の読み聞かせというものはとても魅力的で、子どもにとって良いことしかないんです」と教えていただきました。

